用

二年

画数 5

筆順 ノ 冂 月 用

オン ヨウ

クン もち＝いる

成り立ち

かちくににげられないように、かこいをめぐらしたかたちをあらわしたもので、〝柵〟とおなじなりたちの字です。

かちくがぜひともひつようだったむかしは、〝柵〟はなくてはならないものでしたから、〝ひつようなもの〟といういみをあらわしました。

〝ひつようなもの〟は〝やくにたつ〟ものですから、〝やくにたつ〟といういみにもつかわれます。また、やくにたつものはしぜんとつかわれますので、〝つかう（もちいる）〟といういみにもつかわれるようになりました。

使い方

▽「きょうは、なんの用でいらしたんですか」と、あるじは、おきゃくにききました。

▽もののながさをはかるには、ものさしを用います。

▽使用ずみのタオルは、せんたくきであらいます。

▽水力を利用して、電気をおこすのが、水力発電です。

▽よみちをいくときには、よく用心しなければいけません。

▽お母さんは、ちょっと用事があって、でかけております。

熟語例

▽使用（使うこと。）

▽利用（なにかを利して使うこと。やくに立つように使うこと。）

▽悪用（悪いことに利用すること。）

▽用心（心を用いること。気をつけること。）

▽用事（しなければならない事）

▽費用（ひつようなおかね。また、つかったおかね）

曜

二年

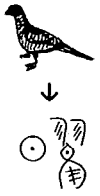
画数 18

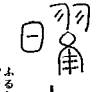
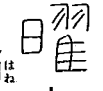
筆順 日 日 日 日 日 日 日 日 日 曜 曜 曜 曜 曜 曜 曜 曜

オン ヨウ

クン

成り立ち



とりのかたちをあらわした〝隹〟と〝羽〟という字とをくみあわせた〝翟〟という字は、「羽がきらきらとかがやく〝きじ〟」をあらわした字ですが、〝かがやく〟といういみをあらわすのにつかわれる字です。

それで、〝曜〟は、「かがやく日（たいよう）」といういみの字で、〝日曜〟といいますが、お月さまのことにもつかって〝月曜〟といい、また、星にもつかって、〝火曜・水曜〟などといいます。

〝日曜日〟とは、「お日さまの日」、〝火曜日〟とは「火星の日」といういみです。

使い方

▽日本では、ねずみの日からいのししの日まで、十二のどうぶつで日をあらわしましたが、めいじじだいいらい、せいようにならって、日、月、星をつかい、日曜の日、月曜の日から土曜の日まで、七曜で日をあらわすようになりました。

熟語例

▽日曜（〝日の光〟とか〝太陽〟といういみのことばです。日曜日は、〝太陽の日〟ということです。）

▽月曜（〝月の光〟とか〝月〟といういみのことばです。月曜日とは、〝お月さまの日〟ということです。）

▽火曜（〝火星〟のことです。火曜日とは、〝火星の日〟といういみのことばです。）

▽水曜（〝水星〟のことです。水曜日とは、〝水星の日〟といういみのことばです。）

▽木曜（〝木星〟のことです。）

▽金曜（〝金星〟のことです。夕がた一ばん先に見える星です。）

▽土曜（〝土星〟のことです。まわりにおびのようなわのある星です。）